

2012 年度第 3 四半期決算報告書



参考和訳

プレスリリース
2012 年 11 月 7 日、パリ発

事業部門は好業績を達成

営業収益：前年同期比 +8.4%

預金基盤の増大：

リテール・バンキング：前年同期末比 +8.1%

うち国内市場部門：前年同期末比 +5.3%

リスク費用は当四半期も低水準

9 億 4400 万ユーロ（前年同期比 -68.6%*）

* 前年同期に計上したギリシア関連のリスク費用を除くと +8.6%）

安定した高水準の余剰資金

710 億ユーロ（12 年 6 月末比 190 億ユーロの増加）

CIB 部門はリスク加重資産の圧縮目標を達成

11 年 6 月末比 450 億ユーロ減少

バーゼル 3（全面適用）自己資本比率 9%目標を超過達成

エクイティ TIER 1 比率（バーゼル 3 全面適用）：9.5%

確かな利益創出能力

株主帰属純利益：13 億ユーロ

特別項目を除けば 16 億ユーロ

堅固な業績：ソブリン危機に見舞われた 11 年度 Q3 からの回復





BNP PARIBAS

2012年11月6日にBNPパリバ取締役会が開催され、ボードゥアン・プロ会長が議長を務めるなか、当グループの2012年度第3四半期の業績が検討されました。

堅固な業績：ソブリン危機に見舞われた2011年度第3四半期からの回復

BNPパリバは、ソブリン危機の影響を大きく受けた2011年度第3四半期からの回復を遂げ、当四半期において堅固な業績を上げました。新規制に対応した当グループの事業適応計画は、現在、既報の予定期限よりも前倒しで完了しています。すなわち、コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業部門においてリスク加重資産の450億ユーロを圧縮し、またグループのエクイティ Tier 1 比率は予定どおり100ベースポイント改善しました。バーゼル3全面適用¹のエクイティ Tier 1 比率は、2012年9月末現在で9.5%に達し、これにより目標水準の9%を上回ったことになります。

営業収益は96億9300万ユーロとなり、2011年度第3四半期からは3.4%の減収でした。当四半期の営業収益には、重要な2つの特別要因が含まれており、これらの合計は純額で-3億4700万ユーロに上りました。すなわち、自己負債の再評価（-7億7400万ユーロ）、およびフォルトイスの銀行勘定において繰上げ償還により生じた公正価値調整額の特別償却（+4億2700万ユーロ）による影響です。事業部門の営業収益は合計で8.4%の増収でした。リテール・バンキング部門²は1.3%の増収、資産運用および証券管理事業部門は3.7%の増収、およびCIB部門は33.2%の増収でした。なお、CIBの営業収益は、ソブリン危機に見舞われた2011年度第3四半期からの回復です。

営業費用は65億6400万ユーロとなり、前年同期比7.5%の増加でした。これには主に、前年同期（2011年度第3四半期）におけるCIBの営業費用が例外的に低水準であったことが影響していました。当四半期において、リテール・バンキング²の営業費用は前年同期比0.2%の微増、また資産運用および証券管理においては3.0%の増加でした。

これにより当四半期の営業総利益は20.3%減少し、31億2900万ユーロとなりました。ただし、事業部門全体では11.4%の増加でした。

グループのリスク費用は9億4400万ユーロに上り、融資残高の55ベースポイントとなりましたが、当四半期においても依然として低水準にとどまりました。当四半期のリスク費用は、21億4100万ユーロに上るギリシア支援プログラムの影響を受けた前年同期からは68.6%減少しました。この影響を除くと、当四半期のリスク費用は8.6%の増加でした。

以上から、当四半期の営業利益は21億8500万ユーロとなりました。事業部門合計では、営業利益は28億600万ユーロに上り、前年同期比11.6%の増益となりました。

BNPパリバは、困難な環境にもかかわらず、当四半期において13億2400万ユーロの株主帰属純利益を計上しました。これは、ソブリン危機の影響を受けた2011年度第3四半期の純利益（5億4100万ユーロ）からは大幅増益となりました。なお、特別項目を除外した当四半期の株主帰属純利益は16億ユーロに上り、厳しい経済環境にあっても当グループが確かな利益創出能力を維持していることを証明しています。

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）規則を考慮し、かつBNPパリバの予想に基づいたエクイティ Tier 1 比率。

² 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含み、PEL/CELの影響を除く。



BNP PARIBAS

2012 年度 3 四半期累計 (1-9 月) において、営業収益は 296 億 7700 万ユーロに上り、前年同期比 9.2%の減収となりました。事業部門全体では、自己負債の再評価を含まないため、営業収益は-1.1%と若干の減収でした。なお、自己負債の再評価はコーポレート・センターで計上されており、当 9 ヶ月間で-13 億 3100 万ユーロの減収要因となったのに対し、前年同期には+8 億ユーロの増収要因でした。

営業費用は 197 億 4800 万ユーロとなり+1.6%と若干増加した結果、営業総利益は 99 億 2900 万ユーロに上り、前年同期比 25.1%の減少となりました。なお、事業部門全体では、減少幅は 5.6%にとどまります。

リスク費用は 27 億 4200 万ユーロとなり、ギリシア支援プログラムに関わる 26 億 7500 万ユーロの影響を受けた前年同期からは 48.1%減少しました。かかる特別要因を除外すると、リスク費用は 5.3%増加しました。また、事業部門全体では前年同期比 2.1%の増加でした。

クレピエールに対するグループの 28.7%持分を 2012 年度第 1 四半期に売却し 17 億 9000 万ユーロの特別利益を計上したことが寄与し、当 9 ヶ月間の株主帰属純利益は 60 億 3900 万ユーロに上り、前年同期比 14.3%の増益となりました。当 9 ヶ月間の年率換算後¹ ROE (株主資本利益率) は、クレピエールの処分に関わる特別利益を除外すると、8.5%となりました。また、1 株当たり純資産額² は 60.50 ユーロとなり、2008 年 12 月末からの年平均成長率は 6.8%となります。これはグループの株主価値創造力を証明するものです。

*
* *

リテール・バンキング事業

国内市場部門

国内市場部門における活発な販売およびマーケティング努力は、当四半期も各ネットワークにおいて預金残高が伸び続けたことに表れています。2012 年度第 3 四半期末現在、国内市場部門の預金残高は 2790 億ユーロに上り、前年同期末比 5.3%増加しました。このような好調な営業活動はまた、様々な国内市場に共通の商品ラインの開発にも反映されています。とりわけ、当四半期において、4 つの国内ネットワーク全ての個人顧客向けに「プライオリティ」商品が発売されたことに顕著に現われています。「プライオリティ」は、フランスおよびベルギーにおいて、既に 20 万人近くの利用客を獲得しています。低迷する欧州経済にあって貸出需要が減速したことから、融資残高は前年同期末から-0.8%と僅かに減少しました。

営業収益³ は、当四半期に 39 億 100 万ユーロとなり、前年同期比 -0.5%⁴ の微減でした。これには金利の継続的な低下と取引高の減少が一部影響していました。営業費用³ は前年同期比-1.6%⁴ と

¹ 自己負債の再評価は特別項目であるため年率換算前の数値。

² 再評価を含まない。

³ フランス (PEL/CEL の影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

⁴ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



BNP PARIBAS

若干の減少でした。これは確かなコスト管理を反映するものであり、2012年度9ヶ月間累計で4つの国内市場のそれぞれにおいて正のジョーズ効果を生み出しました。

リスク費用が抑制されたことから、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を、国内市場部門から資産運用および証券管理事業へ配分した後、税引前利益¹は10億ユーロに上り、前年同期比で+0.3%⁴の増益を果たしました。確かなコストおよびリスク管理が奏功し、国内市場部門は高い業績水準を達成しました。

フランス国内リテール・バンキング (FRB)

フランス国内リテール・バンキング (FRB) 部門における販売およびマーケティング努力は、当四半期末の預金残高が前年同期末比 6.2%増加したことに反映されています。なかでも普通預金の伸び率 (+9.8%) が顕著でした。貸出需要の減速を受けて、融資残高は前年同期末比で僅かに減少 (-0.2%) しました。それでも、零細企業 (VSE) および中小企業 (SME) に対するサポートを継続し、また、スモール・ビジネス・センターの運営が順調に進んだことから、当該顧客セグメントに対する融資残高が増加 (+2.4%²) しました。営業努力はまた、モバイル・インターネット利用者の増加にも反映されました。月間利用者数が 594,000 人を超え、当四半期の利用者数は前年同期比 58%増加しました。

当四半期の営業収益³は17億1200万ユーロとなり、前年同期比 2.1%の減収でした。金利の継続的な低下に加え、貸出需要が減速したことから、純利息収入が 3.4%減少しました。全般的に、手数料収入はほぼ横ばいでした (-0.1%)。

業務効率の継続的な向上が奏功し、営業費用²は前年同期比 1.7%減少しました。その結果、営業総利益²は5億6400万ユーロとなり、前年同期比 2.8%減少しました。

リスク費用²は6600万ユーロとなり、融資残高の17ベースポイントに相当し、依然として低水準にとどまりました。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業へ配分した後、当四半期のFRBの税引前利益⁴は4億7000万ユーロに上り、前年同期比 2.9%の減益となりました。これは、貸出需要の減速にもかかわらず、高収益体質が維持されたことを証明しています。

2012年度3四半期累計 (1-9月) において、営業収益²は前年同期比 -0.8%の微減でした。純利息収入は 0.7%増加したものの、金融市場の低迷を受けて手数料収入の 3.1%の減少がこれを打消してしまいました。営業費用²が 1.4%減少したことにより、営業総利益²がほぼ横ばい (+0.1%増) となり、結果、営業収益対コスト比率²は 0.4ポイント改善し 63%となりました。リスク費用²がある程度抑えられたおかげで、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業へ配分した後、FRBの税引前利益³は16億3300万ユーロとなり、前年同期比で横ばいでした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

¹ PEL/CEL の影響を除く。

² 出展：フランス銀行 (独立系 VSE および SME)。

³ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

⁴ PEL/CEL の影響を除く。



BNP PARIBAS

厳しい環境にもかかわらず、BNL バンカ・コメルシアレ (BNL bc) の商業銀行業務において預金残高は、法人顧客、地方行政機関および公共団体が牽引し、当四半期において前年同期比 3.5% 増加しました。融資残高は、貸出需要が低迷する業界のトレンドを反映した減少となりました。一方、キャッシュマネジメント業務は、法人顧客とのリレーション強化を反映し、取引高が増加しました (2011 年度 1-9 月累計期間との比較で 5.0% の増加)。

当四半期の営業収益¹ は、8 億 1000 万ユーロに上り、前年同期比 1.8% の増収でした。純利息収入が増加基調を維持し、とりわけ小規模事業者および法人向け融資に関わるマージンが底堅く推移したことが貢献しました。保険およびキャッシュマネジメント業務は好調であったものの、新規融資の低迷により、手数料収入が減少しました。

コスト最適化への取組みが奏功し、営業費用² は前年同期比 1.6% の減少により 4 億 3700 万ユーロへと低下しました。これにより当四半期の営業総利益¹ は 3 億 7300 万ユーロに上り、前年同期比 6.0% の増加を果たしました。

リスク費用¹ は、当四半期末の融資残高に対して 110 ベーシスポイントとなり、前年同期から 3100 万ユーロ増加しましたが、前四半期比では横ばいでした。イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BNL bc の税引前利益は厳しい環境でも底堅く推移し、前年同期比 6.6% 減少の 1 億 4100 万ユーロとなりました。

2012 年度 3 四半期累計 (1-9 月) において、営業収益¹ は前年同期比 2.0% の増収となりました。これには純利息収入の 5.7% 増加が牽引役となり、とりわけ小規模事業者および法人向け融資が貢献しました。一方、手数料収入は、新規融資が低迷したため、5.1% 減少しました。営業費用¹ は前年同期比 1.3% 減少したことから、3.3 ポイントの正のジョーズ効果を生み出し、さらには営業収益対コスト比率¹ を 54.2% へと改善させました。リスク費用¹ が前年同期比で 14.5% 増加したことを受けて、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BNL bc の税引前利益は 4 億 2300 万ユーロとなり、前年同期比 5.4% の減益となりました。これは、困難な環境にもかかわらず BNL bc の業績の底堅さを物語っています。

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB)

ベルギー国内リテール・バンキング (BRB) 部門は、厳しい環境にあって当四半期も好業績を上げました。預金残高は、当座預金および普通預金の伸びに支えられ、3.5% の増加を果たしました。融資残高は、個人顧客への貸出が伸びたことから (+5.1%)、前年同期末比で 2.8%² 増加しました。活発な販売およびマーケティング努力はまた、iPhone や iPad 向けアプリケーションであるイージー・バンキング (Easy Banking) の導入の成功にも表れています。

当四半期の営業収益³ は 8 億 3300 万ユーロに上り、前年同期比 2.0%² の増収でした。これには、取引高の拡大に伴い純利息収入が増加したことが貢献しました。手数料収入は横ばいでした。

¹ イタリア国内プライベート・バンキングの 100% を含む。

² 連結範囲変更による影響を除く。

³ ベルギー国内プライベート・バンキングの 100% を含む。



BNP PARIBAS

営業費用³は6億300万ユーロとなり、前年同期比で0.2%²減少したことから、営業総利益³は2億3000万ユーロに上り、前年同期比8.4%²の増加となりました。

リスク費用³は、融資残高の13ベーシスポイントと、当四半期はとりわけ低い水準でしたが、これには貸倒引当金の戻入が影響していました。リスク費用は、2011年度第3四半期との比較では安定推移し、また前四半期との比較では1300万ユーロ減少しました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BRBの税引前利益は前年同期比5.4%²の増益を果たし、1億9200万ユーロに上りました。

2012年度3四半期累計(1-9月)において、営業収益³は前年同期比2.9%²増加しました。これには取引高の増加による純利息収入の増加が寄与し、一方、手数料収入は安定推移しました。営業費用³は、業務効率向上への取組みが奏功し、前年同期比+0.1%²の微増に抑えられたため、2.7ポイントの正のジョーズ効果を生み出し、その結果、営業収益対コスト比率³が72.0%へと改善しました。これにより営業総利益³は前年同期比10.9%²増加しました。リスク費用¹が5.0%上昇したものの、その上昇幅は穏やかな水準にとどまりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業へ配分した後、BRBの税引前利益は5億6700万ユーロに上り、前年同期比+15.7%の増益を果たしました。

ルクセンブルク国内リテール・バンキング：当四半期末において融資残高は、主に住宅ローンの高い伸びが貢献し、前年同期末比で若干増加(+1.8%)しました。預金残高も高い伸びを示し(+12.1%)ましたが、法人顧客セグメントからの旺盛な資金流入がこれを牽引しました。生命保険商品の需要増に押され、オフバランスの貯蓄商品が急増しました。当四半期の営業収益は取引高の増加に伴い拡大し、また、営業費用の管理も行き届いたため、営業収益対コスト比率の改善に貢献しました。

個人投資家部門：当四半期末の運用資産残高は、資金の純流入と運用パフォーマンスとが相まって、前年同期末から大幅に増加(+14.1%)しました。また、預金残高も順調に増加し(+11.3%)、当四半期末において94億ユーロに上りました。それでも営業収益は、不透明な市場環境を受けて顧客が様子見姿勢を維持したことから仲介業務が低迷したため、当四半期は減収となりました。

アルバル：当四半期においてリース・フリートが前年同期末比1.4%伸び、リース車両は690,400台に上りました。アルバルの営業収益は当四半期において、2011年12月に実施した英国の燃料カード事業売却の反動で減収となりましたが、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比で若干の増収でした。これにはマージンが底堅く推移したことが貢献しました。

リーシング・ソリューション：当四半期末においてリース資産残高は、前年同期末比で10.0%減少しましたが、これは事業適応計画に沿ったものです。ただし、取引の収益性を重視する選択的な方針のおかげで、残高減少がリーシング・ソリューション部門の営業収益に及ぼした影響は限定的でした。

全体では、ルクセンブルク国内リテール・バンキング部門のリスク費用が低下したことも寄与し、LRBの純利益の3分の1を資産運用および証券管理事業へ配分した後、これら4つのビジネスユ

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む。



BNP PARIBAS

ニットは、国内市場部門の税引前利益に対して 1 億 9700 万ユーロ（前年同期比 +9.3%¹）の貢献を果たしました。

2012 年度 3 四半期累計（1-9 月）において、ルクセンブルク国内リテール・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、これら 4 つのビジネスユニットは、国内市場部門の税引前利益に対して合計 6 億 2200 万ユーロ（前年同期比 -4.7%²）の貢献を果たしました。

*
* *

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、当四半期も活発な販売およびマーケティング活動を継続しました。預金残高が前年同期末比 13.8%² 増加し、ほとんど全ての国で伸びましたが、なかでもトルコでの +35.3%¹ 増が突出していました。融資残高は当四半期末において 0.3%¹ 増加し、特にトルコが好調であった（+11.8%¹）のに対し、ウクライナでは引き続き減少しました（-30.4%¹）。

当四半期の営業収益は 4 億 5400 万ユーロに上り、前年同期比 7.7%¹ の増加を果たしました。ウクライナでは融資残高の減少を受けて営業収益が低下したにもかかわらず、とりわけトルコでの大幅増収（+47.6%¹）が収益を牽引しました。ウクライナを除くと、営業収益は前年同期比 18.1%¹ の増収を果たしました。

営業費用は、ポーランドにおける事業適応計画の効果が寄与したこともあり、前年同期比で 1.6%¹ 減少しました。トルコでは、2011 年度に実施した支店網の合理化が奏功したことから、TEB（トルコ・エコノミ・バンカシ）の営業収益対コスト比率は大幅に改善し、前年同期から 28 ポイント低下し、62.0%となりました。

当四半期のリスク費用は 6600 万ユーロに上り、融資残高の 104 ベーシスポイントとなり、前年同期からは若干上昇しました。以上から、欧州・地中海沿岸諸国は、当四半期に 8100 万ユーロの税引前利益を計上し、前年同期比 35.5%¹ 増の快挙を遂げました。

2012 年度 3 四半期累計（1-9 月）において、営業収益は、トルコおよび地中海沿岸諸国の好業績により、前年同期比 5.7%¹ の増収を果たしました。営業費用は、地中海地域での支店網強化が特に影響し 2.2%¹ 増加したため、営業収益対コスト比率は 74.1%となりました。当 9 ヶ月間におけるリスク費用が前年同期比で横ばいであったことから、税引前利益は 1 億 8900 万ユーロに上り、前年同期比 +45.6%¹ 増の大躍進を果たしました。

バンクウェスト

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

² 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



BNP PARIBAS

バンクウエストは、他地域に比べ良好な環境にあって、活発な販売およびマーケティング活動の恩恵を受けました。当四半期末の預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し、前年同期末から 7.1%¹ 増加しました。融資残高は、法人向け融資が好調を維持 (+14.8%¹) したことに加え、中小企業 (SME) セグメントへの事業投資が功を奏し、前年同期比 4.2%¹ 増加しました。活発な販売およびマーケティング活動はまた、6 店目のプライベート・バンキング支店の開設が象徴するように、プライベート・バンキング業務の継続的な拡大に反映されています。

しかしながら当四半期の営業収益は、手数料に関する規制変更が悪影響を及ぼし、前年同期比 1.0%¹ の減収となりました。規制変更の影響を除くと、営業収益は 1.0%¹ の増収でした。取引高の増加によるプラス効果が、金利低下の影響でほぼ相殺された形になりました。

営業費用は前年同期比 5.9%¹ 増加しました。これは、プライベート・バンキング業務の強化に加え、法人および小規模事業者を対象とした営業体制の拡充に要する費用のためです。

リスク費用は当四半期も低下傾向をたどり、融資残高の 32 ベーシスポイントへと改善し、2011 年度第 3 四半期からは 2900 万ユーロ減少しました。

以上から、バンクウエストは当四半期において、前年同期比 6.0%¹ 増となる 2 億 4100 万ユーロの税引前利益を計上し、力強い利益創出能力を証明しました。

2012 年度 3 四半期累計 (1-9 月) において、営業収益は手数料に関する規制変更の影響を受け、-0.9%¹ と微減でした。規制変更の影響を除くと、営業収益は前年同期比 1.0%¹ の増収でした。営業費用は、プライベート・バンキング業務の強化に加え、法人および小規模事業者を対象とした営業体制の拡充に要する費用がかさみ、前年同期比 4.0%¹ 増加しました。その結果、営業収益対コスト比率は 2.4 ポイント上昇し 57.0% となりました。リスク費用が大幅に減少 (-49.1%¹) したことから、税引前利益は前年同期比 8.6%¹ 増加し、6 億 7900 万ユーロに上りました。これによりバンクウエストは、グループの業績に重要な貢献を果たし、またその貢献が高まりつつあります。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンス部門は、ロシア貯蓄銀行 (通称「ズベルバンク」) との戦略的な提携合意を実施するとともに、フランスでハイパーマーケットチェーンを展開するコーラ (Cora) との取引契約を締結することにより、引き続きパートナーシップの構築を進めました。消費者ローン残高は、ドイツおよびベルギーでの順調な伸びに支えられ、前年同期末比 0.4% 増加しました。住宅ローンに関しては、パーゼル 3 準拠に向けた事業適応計画の実施が、ローン残高の減少 (前年同期末比 -2.8%) に反映された形となりました。これらの影響が重なり、また新規制がマージンに及ぼした影響から、当四半期の営業収益は前年同期比で 0.8% 減少し、12 億 4000 万ユーロとなりました。

当四半期の営業費用は、前年同期比 1.0% 増加し、5 億 8600 万ユーロとなりました。なお、事業適応計画に関わる当四半期の費用 (3600 万ユーロ) を除外すると、営業費用は前年同期比で 5.2% 減少しました。

¹ 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。



BNP PARIBAS

リスク管理が奏功し、当四半期のリスク費用は 3 億 6400 万ユーロとなり、消費者ローン残高に対して 162 ベーシスポイントとなりましたが、これは前年同期からは 2600 ユーロの減少でした。また、当四半期のリスク費用は、前四半期から安定推移しました。

以上から、パーソナル・ファイナンス部門の税引前利益は 3 億 3500 万ユーロに上り、前年同期比 8.1%の増益を果たしました。

2012 年度 3 四半期累計 (1-9 月)において、営業収益は、とりわけフランスでの新規制の導入に加え、事業適応計画の一環として実施した住宅ローンの圧縮が響いたため、前年同期比 4.0%の減収となりました。営業費用は、事業適応計画に関わる費用 (8300 万ユーロ) のあおりを受けて 2.0%増加した結果、営業収益対コスト比率は 49.0%となりました。事業適応計画に関わる費用を除外すると、営業費用は 2.6%減少しました。当 9 ヶ月間のリスク費用が前年同期比で 13.2%減少したことが主に影響し、税引前利益は 9 億 2700 万ユーロとなり、前年同期からほぼ横ばい (-0.4%) となりました。以上から、厳しい環境にありながら、パーソナル・ファイナンス部門は、その利益創出能力を維持しました。

*
* *



BNP PARIBAS

資産運用および証券管理事業

資産運用および証券管理事業部門の運用資産残高は¹、当四半期末に 8 億 8600 万ユーロに上り（2011 年 12 月末現在は 8 億 4200 万ユーロ）、2011 年 12 月末比 5.2%の増加、また、2011 年 9 月末比 4.1%の増加でした。これには主として良好な運用効果（株式相場の好調）が寄与していました。2012 年度 9 ヶ月累計期間において、純資金流入額は 9 億ユーロにとどまりましたが、これには、ある顧客（運用会社）が第 3 四半期に、販売契約を社内化したことが深刻な影響を及ぼしました。この影響を除くと、2012 年度 9 ヶ月累計期間の純資金流入額は、122 億ユーロに上りました。

資金流入は、2012 年度 9 ヶ月累計期間において、資産運用部門を除き、当事業の各業務部門において純増を記録しました。富裕層向け資産運用部門においては、とりわけ国内市場およびアジア地域での資金流入が順調でした。保険部門では特にアジア（台湾および韓国）が健闘し、さらに、個人投資家部門では特にドイツからの資金流入が貢献しました。資産運用部門では、マネーマーケット商品および債券ファンドへの資金流入が好調であったものの、その他のアセットクラスからの資金流出がこれを打ち消す格好となりました。

2012 年 9 月末現在における資産運用および証券管理事業の運用資産残高¹の内訳は、以下のとおりです。資産運用部門：4080 億ユーロ、富裕層向け資産運用部門：2650 億ユーロ、保険部門：1650 億ユーロ、個人投資家部門：350 億ユーロ、不動産管理部門：130 億ユーロ。

2012 年度第 3 四半期において、資産運用および証券管理事業の営業収益は 15 億 1600 万ユーロに上り、前年同期比 3.7%増加しました。富裕層向けおよび資産運用部門の営業収益は、資産運用部門での預かり資産残高の減少を受けて、前年同期比 4.5%の減収となりました。保険部門の営業収益は、フランス国外での保障保険および貯蓄商品の伸びが好調であったことから、前年同期比 +17.6%の急増を遂げました（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと+10.5%）。証券管理部門の営業収益は、カスタディ資産および管理資産の増加が牽引し、前年同期比 3.7%の増収となりました。

資産運用および証券管理事業の営業費用は当四半期に 10 億 7400 万ユーロとなり、前年同期比では 3.0%増加したものの、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと 0.6%減少しました。資産運用部門の営業費用は、事業適応計画の実施により、前年同期から 8.9%²減少しました。保険部門および証券管理部門では事業投資が押し進められ、とりわけアジアが重要な地位を占めました。

当四半期の営業総利益は 4 億 4200 万ユーロに上り、前年同期比 5.5%増加しました。

国内プライベート・バンキングの税引前利益の 3 分の 1 を資産運用および証券管理事業へ配分した後、当事業部門の税引前利益は 5 億 100 万ユーロに上り、前年同期から+20.4%³の大幅増益となりました。これは、事業部門全体の好業績に加え、保険部門および証券管理部門の持続的な発展を反映したものです。

2012 年度 3 四半期累計（1-9 月）において、資産運用および証券管理事業の営業収益は、前年同期比 1.9%増加しました。富裕層向けおよび資産運用部門では、資産運用部門での預かり資産の減

¹ 外部顧客のためのアドバイザー契約資産、分配金、および個人投資家部門を含む。

² 連結範囲変更および為替レート変動による影響を除く。

³ 2011 年度第 3 四半期に保険部門で設定された、ギリシア国債に関わる貸倒引当金の影響を除く。



BNP PARIBAS

少に起因して営業収益が前年同期比 6.0%減少したものの、保険部門の営業収益 13.3%増（連結範囲変更および為替レート変動による影響を除くと 5.8%増）および証券管理部門の営業収益 5.1%増により相殺されました。当 9 ヶ月間において営業費用は、前年同期から+2.0%と、若干の増加でした。これには主に保険部門および証券管理部門での事業開発関連の投資が負担となりましたが、その一方で、富裕層向けおよび資産運用部門では、新たな環境へのコスト調整から営業費用が 3.3%減少しました。これにより営業収益対コスト比率は、前年同期から安定推移し、69.2%となりました。以上から、当 9 ヶ月間の税引前利益は 15 億 1500 万ユーロに上り、前年同期から 14.9%の増益を果たしました。

*
* *

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業

コーポレートバンキング・投資銀行（CIB）事業は、2012 年第 3 四半期中の市場の回復を受けて良好な業績を収めました。当事業部門は、リスク加重資産を 2011 年 6 月末現在の水準から 450 億ユーロ圧縮するという目標を、予定より 3 ヶ月前倒しで達成しました。資産圧縮計画の開始以来、資産の処分にあつた費用は、純額ベースで合計約 2 億 5000 万ユーロ¹に上りますが、予想をはるかに下回る金額となりました。

2012 年度第 3 四半期における CIB の営業収益は 23 億 8100 万ユーロに上り、ソブリン危機に見舞われた前年同期からは+33.2%の大幅増収となりました。

アドバイザリーおよびキャピタル・マーケット業務の営業収益は、ソブリン危機の影響を受けた前年同期から 41.5%² 増の大幅回復を遂げ、当四半期は 15 億 7600 万ユーロに上りました。市場の回復を受けて、当部門の業務は活況を呈しました。それでも、平均 VaR（バリュエーション・アット・リスク）が低水準（4000 万ユーロ）で推移したことが示すように、依然として不透明な市場環境において、当部門は慎重姿勢を保ちました。

フィクスト・インカム業務の営業収益は、業務の急回復を受けて、当四半期に 11 億 3200 万ユーロとなり、前年同期比 38.0%² の大幅増となりました。フィクスト・インカム部門は当四半期においても、債券業務でのリーダー的地位を確認しました。ユーロ建て債券発行において第 1 位を獲得し、また、全国際債券において第 7 位を確保しました。その他にも、当部門は、クレジットおよび金利業務で好業績を上げ、また為替業務は安定推移しました。

株式およびアドバイザリー業務の営業収益は、当四半期に 4 億 4400 万ユーロに上り、前年同期から 51.0%増の飛躍を遂げました。ただし、前年同期はソブリン危機に見舞われたことから、比較のベースが特に低いことも事実です。夏期をとおして取引高は低迷しました。発行市場において、当部門はエクイティ・リンク債で好業績を収めました。9 月には 7 つの発行案件で主幹事を務めた結果、2012 年 1-9 月累計期間に、欧州における当該業務で第 2 位を獲得しました。

コーポレートバンキング業務は、当四半期も新たな規制環境への対応に取り組まれました。営業収益は前年同期比 22.2%減少し、8 億 500 万ユーロとなりました。融資債権の売却による影響（6500 万ユーロのマイナス要因）を除くと、減少幅はレバレッジ削減に見合う-16.3%へと縮小します。

¹ うち 3500 万ユーロは、2012 年 9 月末現在、契約締結済みであるが未履行の取引。

² 2011 年度第 3 四半期に実施したソブリン債売却からの損失を除く。



BNP PARIBAS

ファイナンス分野においては、当四半期もビジネスモデルの適応化を継続しました。すなわち、「オリジネート・ト・ディストリビュート (Originate to Distribute)」アプローチに基づき、アセットファイナンス業務をはじめとする広範な販売能力を有する複数の業務部門を通して、組成した商品を販売しました。コーポレートバンキング業務は、オリジネーションにおいて確固たる地位を維持しました。2012年1-9月の期間において、同部門は、欧州におけるシンジケートローンの、件数ベースではブックランナー第1地位、取引高ベースではブックランナー第2位を獲得しました。

2012年9月末において当部門の預金基盤は、2012年6月末から9.4%増加し、560億ユーロへと拡大しました。これには複数の大型マンドートを獲得して発展を続けたキャッシュマネジメント業務が一部貢献しており、また、法人預金サービスの導入も寄与しました。

CIBの当四半期の営業費用は14億6700万ユーロに上り、前年同期比で31.0%増加しました。この増加幅は、比較のベースとなる前年同期が、市場危機に起因して例外的に低い水準であったことに加え、為替の影響を受けたことを考慮すると、重要な変動ではありません。CIBの従業員数は当四半期に、前年同期比7%減少しました。これにより、事業適応計画の下で予定されたCIBのスタッフ調整目標の90%を、2012年9月末までに達成したことになります。

CIBのリスク費用は当四半期に1億9000万ユーロとなりました。これは比較的穏やかな水準であったものの、貸倒引当金戻入益により特に低かった、前年同期および前四半期からは上昇しました。

以上から、当四半期において、CIBの税引前利益は7億3200万ユーロとなり、前年同期から7.3%の増益を果たしました。

2012年度3四半期累計(1-9月)において、CIBの営業収益は前年同期比5.8%減少し、77億3200万ユーロとなりました。2011年度第3四半期に実施したソブリン債の売却、および事業適応計画に基づく融資債権の売却による影響を除くと、減収幅は9.1%へと拡大します。アドバイザーおよびキャピタル・マーケット業務からの営業収益は、前年同期比4.3%減少しました(2011年度第3四半期のソブリン債売却の影響を除く)。また、コーポレートバンキング業務の営業収益は、バーゼル3基準適応計画の実施による残高圧縮に伴い、前年同期比16.7%減少しました(事業適応計画に基づく融資債権売却の影響を除く)。営業費用は当9ヶ月間において、前年同期比4.4%増加しました。ただし、連結範囲変更および為替レート変動による影響を除き、かつ事業適応計画に関わる費用(1億3200万ユーロ)を除くと、営業費用は前年同期比2.3%減少しました。CIBの営業収益対コスト比率は依然として業界最良水準にあり、当9ヶ月間は61.5%となりました(事業適応計画費用および融資債権売却の影響を除くと59.3%)。リスク費用は当9ヶ月間に2億8700万ユーロとなり、穏やかな水準でしたが、貸倒引当金戻入益のあった前年同期のリスク費用が特に低かったため(300万ユーロ)、前年同期から増加しました。当9ヶ月間の税引前利益は27億2000万ユーロとなり、前年同期から27.1%減少しました。

*
* *



BNP PARIBAS

コーポレート・センター

コーポレート・センターは、2012年度第3四半期において営業収益 -3億7900万ユーロを計上しました。これに対し、前年同期の営業収益は+7億3800万ユーロでした。当四半期の営業収益には、以下の要因が反映されています。すなわち、自己負債の再評価に関わる修正額が -7億7400万ユーロ（対して前年同期は+7億8600万ユーロ）；繰上げ償還に起因してフォルティスの銀行勘定に生じた公正価値修正額を一括償却したことによる影響が+4億2700万ユーロ（前年同期は僅少）；カーディフ・ヴィタおよびフォルティスの銀行勘定に関わる公正価値修正額の規則的償却額の合計が+1億5200万ユーロ（対して前年同期は+1億5400万ユーロ）；LTRO（長期資金供給オペ）に関わる費用および当四半期の中央銀行預け金の負担です。

当四半期の営業費用は3億400万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は2億3500万ユーロでした。当四半期の営業費用には、2012年度の1-9月に関して計上された9100万ユーロに上るフランスの追加的なシステミックリスク税が含まれ、また事業再編費用6600万ユーロが含まれています（前年同期の事業再編費用は1億1800万ユーロ）。

当四半期のリスク費用は純額ベースでの貸倒引当金戻入益（+6200万ユーロ）の恩恵を受けました。これに対し、前年同期のリスク費用には、ギリシア国債に関わる追加的な減損額が含まれていました（-20億9400万ユーロ）。

以上から、当四半期の税引前利益は-6億4100万ユーロの損失となり、これに対し前年同期は-15億6000万ユーロの損失でした。

2012年度3四半期累計（1-9月）において、コーポレート・センターの営業収益は-10億5700万ユーロとなったのに対し、前年同期の営業収益は16億1500万ユーロでした。当9ヶ月間の営業収益には、以下が含まれています。すなわち、自己負債の再評価に関わる修正額が -13億3100万ユーロ（前年同期は+8億ユーロ）；繰上げ償還に起因してフォルティスの銀行勘定に生じた公正価値修正額の一括償却が+4億2700万ユーロ（前年同期は僅少）；カーディフ・ヴィタおよびフォルティスの銀行勘定に関わる公正価値修正額の規則的償却額の合計が+4億7700万ユーロ（前年同期は+4億9900万ユーロ）；ソブリン債売却による損失が -2億3200万ユーロ（前年同期は僅少）；2012年度第1四半期に実施した劣後ハイブリッド・エクイティ・リンク債（CASHES）の転換、およびLTRO関連の費用、ならびに中央銀行預け金に関わる負担の合計額が -6800万ユーロに上ります。コーポレート・センターの2011年度1-9月の営業収益にはまた、BNPパリバ・プリンシパル・インベストメンツからの営業収益+3億7800万ユーロが含まれていました（今年度1-9月は、+5700万ユーロ）。

当9ヶ月間の営業費用は、前年同期の7億5700万ユーロから、7億1900万ユーロへと低下しました。その主な要因として以下が挙げられます。すなわち、事業再編費用が減少した（前年同期の3億9000万ユーロから、当9ヶ月間は2億3500万ユーロへと低下）一方で、フランスでの追加的なシステミックリスク税9100万ユーロがこれを一部相殺しました。

リスク費用は、当9ヶ月間において、貸倒引当金戻入益（+3500万ユーロ）の恩恵を受けました。対して、前年同期のリスク費用は -25億6000万ユーロに上り、これにはギリシア国債の減損額26億7500万ユーロが含まれていました。

営業外損益は、当9ヶ月間において17億1500万ユーロの収益となりました（前年同期は1億800万ユーロの収益）。これは主に、クレピエールに対する28.7%持分の売却に伴うキャピタルゲイン17億9000万ユーロによるものです。



BNP PARIBAS

当9ヶ月間の税引前利益は -2600万ユーロの損失となり、これに対し前年同期は -15億9400万ユーロの損失でした。

*
* *

流動性および資金調達

グループの流動性の状況は極めて良好でした。

グループのキャッシュ・バランスシート¹は、2012年9月末現在、9980億ユーロに上りました。株主資本、顧客預金、および中長期資金の合計額は、顧客業務からの資金需要および有形・無形資産の合計額との比較で、710億ユーロ（うち米ドル建ては530億ドル）の安定した余剰資金を生み出しました。かかる超過額は、2012年6月末の水準から190億ユーロ増加しました。その結果、安定的な資金は、有形および無形資産を含む顧客業務での資金ニーズの110%相当に達しています。

グループの即時利用可能な流動資産は、当四半期末で2390億ユーロに上りましたが、これは短期ホールセール資金の114%に相当します。

グループの2012年度に予定されていた中長期債発行プログラムは、10月中旬に終了しました。グループに有利な起債環境を利用し、発行額を340億ユーロへと引き上げました。調達コストはミッドスワップレートに対して平均109ベースポイントの上乗せとなり、また償還期間の平均は5.6年²となりました。

*
* *

自己資本比率

グループのエクイティ Tier 1の金額は、2012年9月末現在、646億ユーロに上り、2012年6月末の水準から14億ユーロ増加しました。この増加は、主に内部成長によるものです。

当四半期末においてリスク加重資産³は5億6500万ユーロとなり、2012年6月末からは130億ユーロ減少しました。これには主に、CIB部門における事業適応計画に沿った資産圧縮が影響しています。

以上から、2012年9月末現在、バーゼル2.5基準に基づくエクイティ Tier 1比率は11.4%となり、2012年6月末の水準から50ベースポイント上昇しました。かかるエクイティ Tier 1比率は、2011年末から施行された欧州における資本要求指令3（CRD3）の規則に準拠しています。

¹ 銀行業務運営の健全性の観点に基づき、また、デリバティブ、レポ、有価証券貸借、および未払金・未収金を相殺後の純額表示のバランスシート。

² 2011年11月から2012年10月中旬までの起債。

³ バーゼル2.5。



BNP PARIBAS

バーゼル3基準に基づくエクイティ Tier 1 比率は、経過措置なしで CRD4¹ 規則を全て考慮した場合でも（バーゼル3の全面適用）、2012年6月末から60ベースポイント上昇していました。これには主に以下の要因が影響しています。すなわち、当四半期の業績による影響、およびリスク加重資産の圧縮による効果（+30ベースポイント）、ならびに売却可能金融資産の再評価による影響（+30ベースポイント）です。これらは、新たな規制環境におけるグループの極めて強固な資本金質を証明しています。現に、グループのエクイティ Tier 1 比率は、2012年9月末現在で9.5%に達しており、目標水準の9%を上回っていました。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「多角化されバランスのとれたビジネスモデルのおかげで、BNP パリバ・グループは、当四半期において、厳しい経済環境にもかかわらずその粘り強さを確認しました。」

事業適応計画は、全従業員の揺るぎない決意に支えられ、成功裡にしかも予定より早く完了しました。バーゼル3基準を全面適用したグループのエクイティ Tier 1 比率は、2012年9月末現在で9.5%に達しました。これにより BNP パリバは、新規則に基づき、世界の主要な銀行の中で最も自己資本の充実した銀行の一つとなり、グループの安定した調達資金は、顧客業務の資金ニーズを大幅に上回っています。」

BNP パリバは、欧州をはじめ世界中のお客様にサービスを提供することに全力を尽くします。」

¹ CRD4 の拘束力が発生するのは 2019 年 1 月 1 日。CRD4 の内容は BNP パリバの予想に基づく。CRD4 については現在も欧州議会で審議中であるため、その指令内容は解釈に依存するところがあり、また、今後修正される可能性もある。



連結損益計算書

	3Q12	3Q11	3Q12 / 3Q11	2Q12	3Q12/ 2Q12	9M12	9M11	9M12 / 9M11
(単位：百万ユーロ)								
営業収益	9,693	10,032	-3.4%	10,098	-4.0%	29,677	32,698	-9.2%
営業費用および減価償却費	-6,564	-6,108	+7.5%	-6,337	+3.6%	-19,748	-19,438	+1.6%
営業総利益	3,129	3,924	-20.3%	3,761	-16.8%	9,929	13,260	-25.1%
リスク費用	-944	-3,010	-68.6%	-853	+10.7%	-2,742	-5,279	-48.1%
営業利益	2,185	914	n.s.	2,908	-24.9%	7,187	7,981	-9.9%
関連会社損益	88	-20	n.s.	119	-26.1%	361	117	n.s.
その他営業外項目	31	54	-42.6%	-42	n.s.	1,679	227	n.s.
営業外利益	119	34	n.s.	77	+54.5%	2,040	344	n.s.
税引前利益	2,304	948	n.s.	2,985	-22.8%	9,227	8,325	+10.8%
法人税	-736	-240	n.s.	-914	-19.5%	-2,577	-2,371	+8.7%
少数株主帰属純利益	-244	-167	+46.1%	-223	+9.4%	-611	-669	-8.7%
株主帰属純利益	1,324	541	n.s.	1,848	-28.4%	6,039	5,285	+14.3%
営業収益対コスト比率	67.7%	60.9%	+6.8 pt	62.8%	+4.9 pt	66.5%	59.4%	+7.1 pt

BNP パリバの 2012 年度第 3 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



12 年度第 3 四半期 - コア事業部門別業績

		リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,175	1,516	2,381	10,072	-379	9,693
	対前年同期比	+2.2%	+3.7%	+33.2%	+8.4%	n.s.	-3.4%
	対前四半期比	+1.3%	-3.2%	+6.8%	+1.8%	n.s.	-4.0%
営業費用および減価償却費		-3,719	-1,074	-1,467	-6,260	-304	-6,564
	対前年同期比	+0.2%	+3.0%	+31.0%	+6.6%	+29.4%	+7.5%
	対前四半期比	+1.1%	+0.6%	+5.0%	+1.9%	+57.5%	+3.6%
営業総利益		2,456	442	914	3,812	-683	3,129
	対前年同期比	+5.2%	+5.5%	+37.0%	+11.4%	n.s.	-20.3%
	対前四半期比	+1.6%	-11.2%	+9.7%	+1.7%	n.s.	-16.8%
リスク費用		-820	4	-190	-1,006	62	-944
	対前年同期比	-2.8%	n.s.	n.s.	+10.9%	n.s.	-68.6%
	対前四半期比	-1.6%	n.s.	n.s.	+17.7%	n.s.	+10.7%
営業利益		1,636	446	724	2,806	-621	2,185
	対前年同期比	+9.7%	+21.9%	+10.2%	+11.6%	-61.2%	n.s.
	対前四半期比	+3.2%	-9.9%	-11.1%	-3.0%	n.s.	-24.9%
関連会社損益		47	41	15	103	-15	88
その他営業外項目		29	14	-7	36	-5	31
税引前利益		1,712	501	732	2,945	-641	2,304
	対前年同期比	+8.8%	+98.0%	+7.3%	+17.4%	-58.9%	n.s.
	対前四半期比	+4.6%	-5.6%	-10.8%	-1.4%	n.s.	-22.8%

		リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,175	1,516	2,381	10,072	-379	9,693
	前年同期	6,045	1,462	1,787	9,294	738	10,032
	前四半期	6,097	1,566	2,230	9,893	205	10,098
営業費用および減価償却費		-3,719	-1,074	-1,467	-6,260	-304	-6,564
	前年同期	-3,710	-1,043	-1,120	-5,873	-235	-6,108
	前四半期	-3,679	-1,068	-1,397	-6,144	-193	-6,337
営業総利益		2,456	442	914	3,812	-683	3,129
	前年同期	2,335	419	667	3,421	503	3,924
	前四半期	2,418	498	833	3,749	12	3,761
リスク費用		-820	4	-190	-1,006	62	-944
	前年同期	-844	-53	-10	-907	-2,103	-3,010
	前四半期	-833	-3	-19	-855	2	-853
営業利益		1,636	446	724	2,806	-621	2,185
	前年同期	1,491	366	657	2,514	-1,600	914
	前四半期	1,585	495	814	2,894	14	2,908
関連会社損		47	41	15	103	-15	88
	前年同期	51	-111	14	-46	26	-20
	前四半期	47	35	6	88	31	119
その他営業外項目		29	14	-7	36	-5	31
	前年同期	31	-2	11	40	14	54
	前四半期	4	1	1	6	-48	-42
税引前利益		1,712	501	732	2,945	-641	2,304
	前年同期	1,573	253	682	2,508	-1,560	948
	前四半期	1,636	531	821	2,988	-3	2,985
法人税							-736
少数株主帰属純利益							-244
株主帰属純利益							1,324



2012 年度中間決算（1 - 9 月） - コア事業部門別業績

	リテール・ バンキング事業	資産運用 および証券 管理事業	コーポレート バンキング・ 投資銀行事業	事業部門合計	その他業務	グループ合計
<i>(単位：百万ユーロ)</i>						
営業収益	18,399	4,603	7,732	30,734	-1,057	29,677
対前年同期比	+0.2%	+1.9%	-5.8%	-1.1%	n.s.	-9.2%
営業費用および減価償却費	-11,088	-3,185	-4,756	-19,029	-719	-19,748
対前年同期比	+0.8%	+2.0%	+4.4%	+1.9%	-5.0%	+1.6%
営業総利益	7,311	1,418	2,976	11,705	-1,776	9,929
対前年同期比	-0.6%	+1.9%	-18.6%	-5.6%	n.s.	-25.1%
リスク費用	-2,480	-10	-287	-2,777	35	-2,742
対前年同期比	-6.4%	-85.1%	n.s.	+2.1%	n.s.	-48.1%
営業利益	4,831	1,408	2,689	8,928	-1,741	7,187
対前年同期比	+2.7%	+6.3%	-26.4%	-7.8%	+2.3%	-9.9%
関連会社損益	149	85	35	269	92	361
その他営業外項目	38	22	-4	56	1,623	1,679
税引前利益	5,018	1,515	2,720	9,253	-26	9,227
対前年同期比	+3.0%	+14.9%	-27.1%	-6.7%	-98.4%	+10.8%
法人税						-2,577
少数株主帰属純利益						-611
株主帰属純利益						6,039
年率換算後 ROE (株主資本純利益率)						



四半期決算

(単位:百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
グループ事業							
営業収益	9,693	10,098	9,886	9,686	10,032	10,981	11,685
営業費用および減価償却費	-6,564	-6,337	-6,847	-6,678	-6,108	-6,602	-6,728
営業総利益	3,129	3,761	3,039	3,008	3,924	4,379	4,957
リスク費用	-944	-853	-945	-1,518	-3,010	-1,350	-919
営業利益	2,185	2,908	2,094	1,490	914	3,029	4,038
関連会社損益	88	119	154	-37	-20	42	95
その他営業外項目	31	-42	1,690	-127	54	197	-24
税引前利益	2,304	2,985	3,938	1,326	948	3,268	4,109
法人税	-736	-914	-927	-386	-240	-956	-1,175
少数株主帰属純利益	-244	-223	-144	-175	-167	-184	-318
株主帰属純利益	1,324	1,848	2,867	765	541	2,128	2,616
営業収益対コスト比率	67.7%	62.8%	69.3%	68.9%	60.9%	60.1%	57.6%



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
リテール・バンキング(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く							
営業収益	6,225	6,259	6,260	6,132	6,143	6,230	6,301
営業費用および減価償却費	-3,774	-3,735	-3,743	-3,932	-3,766	-3,726	-3,674
営業総利益	2,451	2,524	2,517	2,200	2,377	2,504	2,627
リスク費用	-822	-832	-827	-918	-845	-869	-936
営業利益	1,629	1,692	1,690	1,282	1,532	1,635	1,691
営業外損益	76	51	60	97	83	40	43
税引前利益	1,705	1,743	1,750	1,379	1,615	1,675	1,734
資産運用および証券管理事業帰属利益	-48	-53	-57	-46	-45	-57	-58
リテール・バンキング税引前利益	1,657	1,690	1,693	1,333	1,570	1,618	1,676
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	33.7	33.7	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
リテール・バンキング(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	6,175	6,097	6,127	6,006	6,045	6,122	6,188
営業費用および減価償却費	-3,719	-3,679	-3,690	-3,878	-3,710	-3,669	-3,621
営業総利益	2,456	2,418	2,437	2,128	2,335	2,453	2,567
リスク費用	-820	-833	-827	-916	-844	-869	-936
営業利益	1,636	1,585	1,610	1,212	1,491	1,584	1,631
営業外損益	76	51	60	97	82	40	43
税引前利益	1,712	1,636	1,670	1,309	1,573	1,624	1,674
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	33.7	33.7	34.0	32.9	32.9	32.7	32.8
(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く							
営業収益	3,901	3,961	4,023	3,885	3,932	3,970	4,008
営業費用および減価償却費	-2,507	-2,467	-2,441	-2,642	-2,554	-2,503	-2,461
営業総利益	1,394	1,494	1,582	1,243	1,378	1,467	1,547
リスク費用	-358	-381	-364	-380	-344	-354	-327
営業利益	1,036	1,113	1,218	863	1,034	1,113	1,220
関連会社損益	11	10	11	-4	9	3	12
その他営業外項目	1	0	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,048	1,123	1,232	864	1,045	1,123	1,230
資産運用および証券管理事業帰属利益	-48	-53	-57	-46	-45	-57	-58
国内市場税引前利益	1,000	1,070	1,175	818	1,000	1,066	1,172
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.2	21.3	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6
(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
国内市場(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	3,851	3,799	3,890	3,759	3,834	3,862	3,895
営業費用および減価償却費	-2,452	-2,411	-2,388	-2,588	-2,498	-2,446	-2,408
営業総利益	1,399	1,388	1,502	1,171	1,336	1,416	1,487
リスク費用	-356	-382	-364	-378	-343	-354	-327
営業利益	1,043	1,006	1,138	793	993	1,062	1,160
関連会社損益	11	10	11	-4	8	3	12
その他営業外項目	1	0	3	5	2	7	-2
税引前利益	1,055	1,016	1,152	794	1,003	1,072	1,170
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	21.2	21.3	21.5	21.0	20.9	20.7	20.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



BNP PARIBAS

(単位:百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	1,767	1,716	1,790	1,673	1,751	1,790	1,806
うち受取利息純額	1,063	1,020	1,071	989	1,046	1,054	1,060
うち手数料	704	696	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,148	-1,098	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	619	618	700	483	583	674	707
リスク費用	-66	-85	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	553	533	616	398	514	593	627
営業外損益	1	1	0	1	1	0	1
税引前利益	554	534	616	399	515	593	628
資産運用および証券管理事業帰属利益	-29	-30	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	525	504	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3
 (単位:百万ユーロ)							
PEL/CELの影響を除くフランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*							
営業収益	1,712	1,770	1,813	1,697	1,748	1,784	1,808
うち受取利息純額	1,008	1,074	1,094	1,073	1,043	1,048	1,062
うち手数料	704	696	719	684	705	736	746
営業費用および減価償却費	-1,148	-1,098	-1,090	-1,190	-1,168	-1,116	-1,099
営業総利益	564	672	723	507	580	668	709
リスク費用	-66	-85	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	498	587	639	422	511	587	629
営業外損益	1	1	0	1	1	0	1
税引前利益	499	588	639	423	512	587	630
資産運用および証券管理事業帰属利益	-29	-30	-34	-28	-28	-34	-34
フランス国内リテール・バンキング税引前利益	470	558	605	395	484	553	596
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3
 (単位:百万ユーロ)							
フランス国内リテール・バンキング (フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)							
営業収益	1,709	1,658	1,730	1,618	1,695	1,728	1,745
営業費用および減価償却費	-1,120	-1,069	-1,064	-1,163	-1,139	-1,088	-1,072
営業総利益	589	589	666	455	556	640	673
リスク費用	-65	-86	-84	-85	-69	-81	-80
営業利益	524	503	582	370	487	559	593
営業外損益	1	1	0	1	0	0	1
税引前利益	525	504	582	371	487	559	594
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.8	7.8	7.9	7.6	7.6	7.4	7.3

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*							
営業収益	810	813	816	811	796	797	798
営業費用および減価償却費	-437	-444	-442	-489	-444	-452	-444
営業総利益	373	369	374	322	352	345	354
リスク費用	-229	-230	-219	-203	-198	-196	-198
営業利益	144	139	155	119	154	149	156
営業外損益	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	144	139	155	119	154	149	156
資産運用および証券管理事業帰属利益	-3	-7	-5	-2	-3	-5	-4
BNL bc 税引前利益	141	132	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.4	6.3	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3
(単位: 百万ユーロ)							
BNL バンカ・コメルシアレ (イタリア国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)							
営業収益	800	801	805	801	787	786	789
営業費用および減価償却費	-430	-439	-436	-483	-438	-446	-439
営業総利益	370	362	369	318	349	340	350
リスク費用	-229	-230	-219	-201	-198	-196	-198
営業利益	141	132	150	117	151	144	152
営業外損益	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	141	132	150	117	151	144	152
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	6.4	6.3	6.4	6.4	6.4	6.3	6.3
(単位: 百万ユーロ)							
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 100%を含む)*							
営業収益	833	837	841	820	809	796	813
営業費用および減価償却費	-603	-612	-594	-612	-599	-601	-590
営業総利益	230	225	247	208	210	195	223
リスク費用	-28	-41	-37	-36	-26	-53	-22
営業利益	202	184	210	172	184	142	201
関連会社損益	4	4	5	1	2	2	2
その他営業外項目	1	2	3	-1	4	2	0
税引前利益	207	190	218	172	190	146	203
資産運用および証券管理事業帰属利益	-15	-16	-17	-15	-13	-17	-19
ベルギー国内リテール・バンキング税引前利益	192	174	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4
(単位: 百万ユーロ)							
ベルギー国内リテール・バンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの 2/3を含む)							
営業収益	798	801	804	785	775	758	774
営業費用および減価償却費	-584	-592	-574	-592	-579	-580	-570
営業総利益	214	209	230	193	196	178	204
リスク費用	-27	-41	-37	-36	-25	-53	-22
営業利益	187	168	193	157	171	125	182
関連会社損益	4	4	5	1	2	2	2
その他営業外項目	1	2	3	-1	4	2	0
税引前利益	192	174	201	157	177	129	184
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む



BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
パーソナル・ファイナンス							
営業収益	1,240	1,244	1,231	1,272	1,250	1,310	1,310
営業費用および減価償却費	-586	-592	-642	-636	-580	-613	-591
営業総利益	654	652	589	636	670	697	719
リスク費用	-364	-374	-327	-412	-390	-406	-431
営業利益	290	278	262	224	280	291	288
関連会社損益	21	24	24	29	27	18	21
その他営業外項目	24	4	0	59	3	2	1
税引前利益	335	306	286	312	310	311	310
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	5.0	5.0	5.1	4.9	5.0	5.0	5.0
欧州・地中海沿岸諸国							
(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
営業収益	454	448	413	422	401	399	417
営業費用および減価償却費	-323	-333	-318	-328	-333	-308	-308
営業総利益	131	115	95	94	68	91	109
リスク費用	-66	-45	-90	-70	-48	-47	-103
営業利益	65	70	5	24	20	44	6
関連会社損益	15	13	20	11	16	12	11
その他営業外項目	1	-1	1	-2	25	-2	-1
税引前利益	81	82	26	33	61	54	16
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4
バンクウエスト							
(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
営業収益	630	606	593	553	560	551	566
営業費用および減価償却費	-358	-343	-342	-326	-299	-302	-314
営業総利益	272	263	251	227	261	249	252
リスク費用	-34	-32	-46	-56	-63	-62	-75
営業利益	238	231	205	171	198	187	177
営業外損益	3	1	1	-1	1	0	1
税引前利益	241	232	206	170	199	187	178
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.1	4.0	4.0	3.8	3.7	3.8	3.9



BNP PARIBAS

(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
資産運用および証券管理							
営業収益	1,516	1,566	1,521	1,406	1,462	1,533	1,521
営業費用および減価償却費	-1,074	-1,068	-1,043	-1,134	-1,043	-1,039	-1,042
営業総利益	442	498	478	272	419	494	479
リスク費用	4	-3	-11	3	-53	-19	5
営業利益	446	495	467	275	366	475	484
関連会社損益	41	35	9	-50	-111	-8	35
その他営業外項目	14	1	7	-19	-2	66	13
税引前利益	501	531	483	206	253	533	532
	8.0	7.9	7.9	7.5	7.4	7.2	7.1
(十億ユーロ、年初来)							
(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
富裕層向け資産運用							
営業収益	682	710	706	725	714	741	777
営業費用および減価償却費	-521	-528	-520	-598	-539	-539	-544
営業総利益	161	182	186	127	175	202	233
リスク費用	3	1	-6	3	-5	0	8
営業利益	164	183	180	130	170	202	241
関連会社損益	6	12	7	5	15	5	8
その他営業外項目	10	1	5	-19	-2	66	16
税引前利益	180	196	192	116	183	273	265
	1.8	1.8	1.9	1.7	1.7	1.7	1.6
(十億ユーロ、年初来)							
(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
保険							
営業収益	495	475	475	351	421	429	425
営業費用および減価償却費	-253	-241	-234	-243	-224	-223	-222
営業総利益	242	234	241	108	197	206	203
リスク費用	1	-4	-5	-1	-48	-19	-3
営業利益	243	230	236	107	149	187	200
関連会社損益	35	23	1	-55	-125	-13	27
その他営業外項目	-2	1	1	0	0	0	-3
税引前利益	276	254	238	52	24	174	224
	5.6	5.6	5.5	5.3	5.2	5.1	5.0
(十億ユーロ、年初来)							
(単位：百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
証券管理							
営業収益	339	381	340	330	327	363	319
営業費用および減価償却費	-300	-299	-289	-293	-280	-277	-276
営業総利益	39	82	51	37	47	86	43
リスク費用	0	0	0	1	0	0	0
営業利益	39	82	51	38	47	86	43
営業外損益	6	-1	2	0	-1	0	0
税引前利益	45	81	53	38	46	86	43
	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
(十億ユーロ、年初来)							



BNP PARIBAS

(単位: 百万ユーロ)	3Q12	2Q12	1Q12	4Q11	3Q11	2Q11	1Q11
コーポレートバンキング・投資銀行							
営業収益	2,381	2,230	3,121	1,685	1,787	2,920	3,505
営業費用および減価償却費	-1,467	-1,397	-1,892	-1,569	-1,120	-1,613	-1,824
営業総利益	914	833	1,229	116	667	1,307	1,681
リスク費用	-190	-19	-78	-72	-10	23	-16
営業利益	724	814	1,151	44	657	1,330	1,665
関連会社損益	15	6	14	1	14	13	10
その他営業外項目	-7	1	2	1	11	27	3
税引前利益	732	821	1,167	46	682	1,370	1,678
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	16.7	17.2	18.1	16.9	17.0	17.2	17.5
(単位: 百万ユーロ)							
アドバイザーおよびキャピタル・マーケット							
営業収益	1,576	1,207	2,249	767	752	1,803	2,343
営業費用および減価償却費	-1,065	-958	-1,471	-1,153	-672	-1,163	-1,389
営業総利益	511	249	778	-386	80	640	954
リスク費用	-17	-94	37	33	-42	9	21
営業利益	494	155	815	-353	38	649	975
関連会社損益	2	2	9	1	7	9	0
その他営業外項目	-7	1	2	0	5	8	0
税引前利益	489	158	826	-352	50	666	975
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.1	8.3	8.8	6.7	6.8	6.8	6.8
(単位: 百万ユーロ)							
コーポレートバンキング							
営業収益	805	1,023	872	918	1,035	1,117	1,162
営業費用および減価償却費	-402	-439	-421	-416	-448	-450	-435
営業総利益	403	584	451	502	587	667	727
リスク費用	-173	75	-115	-105	32	14	-37
営業利益	230	659	336	397	619	681	690
営業外損益	13	4	5	1	13	23	13
税引前利益	243	663	341	398	632	704	703
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	8.6	8.9	9.3	10.1	10.2	10.4	10.7
(単位: 百万ユーロ)							
コーポレート・センター (クレビエールを含む)							
営業収益	-379	205	-883	589	738	406	471
営業費用および減価償却費	-304	-193	-222	-97	-235	-281	-241
うち事業再編費用	-66	-104	-65	-213	-118	-148	-124
営業総利益	-683	12	-1,105	492	503	125	230
リスク費用	62	2	-29	-533	-2,103	-485	28
営業利益	-621	14	-1,134	-41	-1,600	-360	258
関連会社損益	-15	31	76	-24	26	4	6
その他営業外項目	-5	-48	1,676	-170	14	97	-39
税引前利益	-641	-3	618	-235	-1,560	-259	225



貸借対照表 - 2012年9月30日現在

(単位: 百万ユーロ)	2012年 9月30日現在	2012年 6月30日現在	2011年 12月31日現在
資産			
現金ならびに中央銀行および郵政勘定預け金	128,928	94,279	58,382
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	797,284	797,616	820,463
ヘッジ目的デリバティブ	14,773	12,482	9,700
売却可能金融資産	185,182	183,892	192,468
金融機関貸出金および債権	38,778	49,883	49,369
顧客貸出金および債権	636,459	657,441	665,834
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	6,078	4,616	4,060
満期保有目的金融資産	10,506	10,512	10,576
当期および繰延税金資産	8,937	9,809	11,570
未収収益およびその他の資産	127,569	110,793	93,540
保険契約者剰余金	205	231	1,247
関連会社に対する投資	6,920	6,556	4,474
投資不動産	996	966	11,444
有形固定資産	17,332	17,274	18,278
無形固定資産	2,534	2,510	2,472
のれん	11,116	11,181	11,406
資産合計	1,993,597	1,970,041	1,965,283
負債			
中央銀行および郵政勘定預金	3,625	3,176	1,231
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	746,627	750,075	762,795
ヘッジ目的デリバティブ	18,343	16,858	14,331
金融機関預金	122,401	136,250	149,154
顧客預金	539,626	535,359	546,284
負債証券	177,819	168,416	157,786
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	2,011	677	356
当期および繰延税金負債	3,427	3,256	3,489
未払費用およびその他の負債	114,177	98,701	81,010
保険会社の責任準備金	144,189	138,989	133,058
偶発債務当引当金	10,778	10,841	10,480
劣後債	16,955	17,164	19,683
負債合計	1,899,978	1,879,762	1,879,657
連結資本			
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	76,025	76,317	70,714
親会社株主帰属当期純利益	6,039	4,715	6,050
資本金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	82,064	81,032	76,764
資本に直接認識される資産および負債の変動	2,603	1,098	-1,394
親会社株主資本	84,667	82,130	75,370
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	8,682	8,094	10,737
資本に直接認識される資産および負債の変動	270	55	-481
少数株主持分合計	8,952	8,149	10,256
連結資本合計	93,619	90,279	85,626
負債および資本合計	1,993,597	1,970,041	1,965,283



堅固な業績：ソブリン危機に見舞われた 2011 年度第 3 四半期からの回復	2
リテール・バンキング事業	3
国内市場部門	3
資産運用および証券管理事業	10
コーポレートバンキング・投資銀行 (CIB) 事業	11
コーポレート・センター	13
流動性および資金調達	14
自己資本比率	14
連結損益計算書	16
2012 年度第 3 四半期 – コア事業部門別業績	17
2012 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) – コア事業部門別業績	18
四半期決算	19
貸借対照表 – 2012 年 9 月 30 日現在	26

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2012 年 4 月 18 日に、BNP パリバは、2011 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には、各事業部門に配賦される資本がリスク加重資産の 7%から 9%へと引き上げられた旨、および「国内市場」部門の創設、ならびに事業部門間の業務の移管が特に反映されています。これらの修正決算報告において、2011 年度に関わる数値は、あたかも取引が 2011 年 1 月 1 日に実行されたかのように表示されています。本プレゼンテーションは、修正された 2011 年度の四半期数値に基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。